

トーゴ：アフリカに笑顔をもたらすワンダーランド



Togo: The Country of Wonders that Brings Smile to Africa



TOGO : le pays aux mille merveilles qui donne à
l' Afrique son sourire

JANUARY 2012
平成24年1月

トーゴは西アフリカに位置する小さな国ですが、訪問者は多彩な風景や様々な伝統的文化を楽しむことができます。

太陽の光が年中溢れるこの国へようこそ！

この国には、ココヤシの木が並ぶ美しい砂浜、かつては奴隷貿易が行われていた場所、そして水泳や水上競技を行うことができるトーゴ湖を有する沿岸州、また、さわやかな滝、美しい熱帯林、コーヒーやカカオ、果物の栽培場を有し、生物多様性に恵まれた高原州、かつては奴隷貿易が行われていた場所や野生動物保護区がある中央州、ユネスコの世界遺産であるクタマクがあり、文化の坩堝であるカラ州、サハラとの国境を、千年もの樹齢のバオバブの木によって隔てているサバンナ州があります。

トーゴの人々の友好的なおもてなしは有名で、トーゴ人と接すればすぐに友人になることができます。国際社会の変化には柔軟ですが、他面では、トーゴ人達は先祖から受け継いだ伝統を守ってきました。成人式や地域で収穫した果物を神に捧げる儀式が毎年行われ、彼らの豊かな文化遺産を色彩鮮やかな儀式、歌、踊りなどを通して披露します。これらは、訪問者の参加をいつでも歓迎する友好的な集まりです。

都会であるか、田舎であるかを問わず、訪問者の商用旅行や休暇旅行のニーズや好みに合った、くつろげるホテルやホステルがあります。日中のアクティビティを存分に楽しみ、また、夜の楽しい雰囲気をぜひ味わって下さい。

トーゴの人々はあなたのご訪問をお待ちしております。トーゴは平和で居心地がよく、友人をすぐに作ることができ、素晴らしい滞在の経験が得られる「アフリカの笑顔」です。

Embassy of the Republic of Togo in Japan
トーゴ共和国大使館

〒107-0052 Tokyo, Akasaka, Minato-ku, 7-4-4
Tel. 03-6426-5266 Fax. 03-6426-5267
Ambatogojapon@ambatogojapon.net
<http://www.ambatogojapon.net>

トーゴの概要 ・ Outline of Togolese Republic



歴史 ・ History

国の歴史の中で、さまざまな出来事がありました。その中でも特に大切な事柄を紹介致しましょう。

他のアフリカの国と同様に、トーゴは民族が統一したものでも地理的な統一でもありません。トーゴは主に19世紀の欧州諸国の影響から逃れようと奮闘した結果、人為的に成立した国です。

1880年から1890年までの間、欧州の覇権国がアフリカ大陸の分割を決めました。ベナン湾の海岸に対して垂直に国境が引かれ、それはココヤシが並んでいるところまで続いていました。

トーゴ湖の近くの都市であるトゴヴィルのムラパ王と、ドイツ人領事のグスタフ・ナハティガルとの間で1884年7月4日に署名された保護条約にしたがって、ドイツの植民地がつくられ、トーゴと名づけられました。

当時の面積は90,500 km²でした。しかし1914年、第一次世界大戦でフランスとイギリスが勝ち、トーゴは二つに分けられました。

今のトーゴは、当時のフランス領であったところです。

1960年4月27日に、トーゴはフランスから独立しました。その時、オリオンピオ大統領が就任しました。そして、5ヶ月後に国連に加盟しました。

1963年にクーデターがあり、その後、約4年間、グルニツキーが国を束ねました。そして1967年1月13日に、エヤデマ大統領が就任しました。

エヤデマ時代が一番長く、1967年から2005年まで続きました。その時代、二つの政治体制を体験しました。一党支配と民主主義です。

一党支配は、1967年から1990年まで行われました。国の繁栄のために、エヤデマが数多くのプロジェクトを策定しました。

トーゴは静穏な国になりました。これにより、1980年代には、トーゴはアフリカのスイスと言われました。

しかし1990年から民主化運動が始まりました。政治問題は、深刻になりました。政治家の間でいろいろな意見の違いがあり、1991年に国民会議が開かれました。

しかし政治家の思い違いが積み重なって、国と欧州連合の関係が途切れてしまいました。トーゴと国際社会の殆どの国との関係も途切れてしまいました。

15 年間、トーゴは経済的援助を全く受けられませんでした。この状況下で、2005 年 2 月 5 日にエヤデマが突然亡くなりました。

そして 2005 年 4 月の選挙後に、フォール・ニヤシンベが大統領になり、2010 年の選挙で再選されました。

彼は 2007 年に模範的な議会の選挙を実施し、それによって国際社会の全ての国が認めるようになりました。そこで欧州連合の経済援助も始まりました。大統領選挙方法の確立により、トーゴと国際社会の関係が強まっています。

現在は、フォール・ニヤシンベのおかげで新しい希望が生まれています。いろいろな開発プロジェクトも始まっています。

トーゴは、国際社会に復帰することができました。

地理と気候 ・ Geography and Climate

トーゴは西アフリカに位置しており、北緯 6 度から 11 度の間にあります。西にはガーナ、東にはベナン共和国、北にはブルキナファソがあり、660km に広がった通路のような形をしていて、南は 50km に渡って大西洋に面しています。

トーゴは高い山々よりは、平原によって特徴付けられますが、トーゴの領土を横切るようにしてアタコラ山脈が南西から北東に横たわっています。山脈をまたぐようにして北西と南東には多くの大きな川が流れて給水路の役割を果たしており、そして高原や平原のある美しい景色を織り成しています。トーゴの北部にはサバンナ州があり、そこには絵のように美しい切り立った崖を有する高原があります。

トーゴは熱帯性気候です。南東に吹くモンスーンと呼ばれる海洋風により雨がもたらされ、またハーマタンという乾燥した風によって夜は寒く日中は暑くなります。南から北に向かって平均最高気温が高くなります（ロメ：30.4℃、マンゴ：34.4℃）。逆に平均最低気温は低くなります（ロメ：22.8℃、マンゴ：13.1℃）。

トーゴはいつ訪れても良いのですが、訪れるのに最も適したシーズンは国立公園が訪問者に開放される乾季の 11 月初旬から 4 月末にかけてです。

人口 ・ Population

トーゴの人口は約 600 万人で、トーゴの人々は友好的で、心が温かく、品の良い国民性です。若い年齢の人々が多く、人々は多様です。トーゴを訪れることのメリットの一つは、トーゴ人の心の温かさや礼儀正しさに触れる機会があることです。

他のアフリカの国と同様に、トーゴには多数の民族が暮らしています。南部のエウエ族、ミナ族、ワチ族、中部のテム族、カラ州のカビエ族、ロッソ族、北部のモバ族、グルマ族、チョコッシ族、ハウサ族など、約 40 部族あります。その他の主要部族としては、南部の高原の西側に住むアクポッシ族、中部西側のバサール族とコンコンバ族、ソコデ州東部のカンボレ族とチャンバ族、ケラン州のランバ族とタンベルマ族、北部のプル族とモシ族などが挙げられます。

現地の言葉は約 50 ほどありますが、公用語はフランス語です。英語とドイツ語を話す人も多くいますが、国語としては主にエウエ語とカビエ語が話されています。

トーゴ人は誰とでもすぐに友人になって彼らの日常生活に招いてくれます。訪問者は歓迎されていると感じられ、自分の故郷のように思えるでしょう。

経済と投資・Economics and Investment

トーゴ経済における重要産業は農業であり、労働人口の約 70%が農業を営んでいます。トーゴの主食となる換金作物（トウモロコシ、キャッサバイモ、ヤマイモ、キビ、アワなどの雑穀、豆類、水稻など）の栽培に大変な労力を費やしています。主な輸出品は綿花、コーヒー、カカオなどです。

トーゴは農業国ですが食品加工業は殆ど行われていません。食用作物の栽培から換金作物の栽培へとシフトするように、現在努めています。

トーゴ経済は急成長中であり、全ての分野において投資の機会があります。しかし、なぜトーゴに投資するのでしょうか？

平和で安定した国・Peaceful and Stable Country

トーゴは過去数年間、平和で安定しており、大きな国際組織や日本を始めとするそれらの主なパートナー国との関係に信頼を寄せ、強化してきたことが強調されます。このような安定は、組織や民主主義の文化の改善、人権の尊重、社会経済の発展、そして住民の生活条件の改善などの成果をもたらしますが、そのためには、平和や持続的な開発による集団的安全保障や、紛争後の教育、そして紛争予防措置などが重要となります。

トーゴを平和な国にするため、政府は軽武器の拡散や、人権の侵害と闘ってきました。実際に、国レベルで、政府はこの部門の担当大臣に「蜘蛛作戦」と名付けた戦略を立てさせました。それは領土全域の安全と安定を図るために平和を促進するためでした。この戦略は、いつでもどこでも必要に応じて介入できるという原則のもとに定められました。これにより、トーゴの平和を維持するための真の能力を与えられ、市民を保護する積極的な役割を果たしました。トーゴは影響を受けた西洋の国に倣って、アフリカ地域の平和と安全の主要保証国になりたいと願っています。このような動きは経済開発に新たな風を吹き込む新しい投資家についての、政府によるより包括的なリサーチを含んでいます。

さらに「蜘蛛作戦」によって具現化されたトーゴの価値観は、平和、安定、紛争予防などを促進させています。この戦略は、地域の不安定が生じたときの迅速な介入手段となることを意図しています。

- **住民の利点と活力・Advantages and Vitality of the People**

西アフリカの大西洋沿いに位置するトーゴは、水深が深い商港と二つの国際空港があり、その戦略的な地理的位置は、世界中の国と貿易をするのに理想的な環境となっています。

若く精力的な住民・Young and Energetic People

トーゴの利点の一つは、その人材の潜在的価値にあります。彼らの活力、真面目さ、経済発展や技術革新を受け入れる姿勢などは、よく知られています。

非常に発展した社会体制・Developed Social System

トーゴはもてなしのよい国で、外国人でも居心地よく暮らすことができます。彼らの子供も、一般的にも、技術的にもよい教育を受けることができます。

- **インフラストラクチュア・Infrastructure**

ロメの商港は 900 ヘクタール以上ある、大きなインフラストラクチュアです。水深が深いという特徴により、ギニア湾において最も確かで能率的な港となっています。コンテナ集配所はコンテナや単一積荷に特化しており、110,000 m²の貯蔵庫と 200,000 m²の平地があります。世界中の港との連絡のよさは保証されています。ロメの商港は、トーゴの商人にとって効率的な道具であり、後背地（ブルキナファソ、マリ、ニジェール）に向かって企業活動を展開するための重要な交通の要所となっています。

ニヤシンベ・エヤデマ国際空港のエアターミナルのサービスは、西アフリカで最新のもので、年間 11,000 トンの貨物を取り扱っています（2005 年のトーゴの通貨価値による）。

ニヤントゥグ国際空港はワガドゥーグーからのフライトで 45 分のところに位置しており、トーゴの後背地と、世界の大都市を繋いでいます。

国内便としては、「FlyTogo」という会社があり、2011 年 4 月から営業を開始しています。この国内便によって、今後はトーゴの複数の都市間があつという間に繋がるようになりました。

交通のインフラストラクチュア（港と空港）が進歩したことで、費用や人件費が削減されて、港や空港の設備や施設などの維持や、2000 年版の ISO 9001 の認証過程の一部をトーゴの当局が民間企業に委託するなどの成果をもたらしました。

道路交通の発展や広がりや、首都やロメの主要商港とそれを取り囲む近隣国とを繋ぎ、物資の流通や貿易をより円滑にしています。

また非常にモダンな会議室のあるホテルなど、迎え入れるためのインフラストラクチュアは大変、発達しています。

- **電気通信・Telecommunication**

通信機器の市場は、主に3つの電話会社が占めています。固定電話の会社であるトーゴテレコムは、完全にデジタル化された通信・伝達網を持っており、136の村と公園で、主に70,000回線ほど開通しています。

回線は、インターネット・アクセスのプロバイダーとして専門化されており、回線を変換することで遠距離通信や、512KBまで達することがある専門的な回線を通しての固定通信などができます。

17のプロバイダーが、300あるインターネットカフェに商品を売り出しており、自宅で接続できない利用者のためにサービスを提供しています。

新しいサービス（ADSL、RNIS、SDA、会議電話、着信番号通知など）も、回線上で利用可能です。携帯電話のプロバイダーには、ローミングのための設備が整えられています。またトーゴは、TOGOCELとMOOVという2つのプロバイダーによって運営される携帯電話のサービスエリア内です。そしてこれらが提供しているローミングのサービスのおかげで、利用者はいくつかの国で旅行中も連絡をとることが可能です。

- **有資格労働可能者・Qualified and Skilled Workers**

トーゴでは就学率は73%に達しており、アフリカで最も高い国の1つです。職業訓練に関しては、有資格労働者を育てるための学校がいくつかあります。

「ル・フォン・ナショナル・ダプロンティサーージュ・ド・フォーメーション・エ・ド・パーフェクシヨヌマン・プロフェッショナル」（職業訓練と技術再教育の国立基金）は、企業の従業員の能力を高めるために、経済的支援を行っています。

これらの努力によって、トーゴには資格を持ち、よく訓練された労働者がおり、彼らの雇用の自由は保証されています。2006年に改正され、施行された労働法は、とても柔軟で、労働市場の新しい力関係に適合するように改正されました。

- **金融業界の安定・Stable Financial Industry**

トーゴは、CFAフランを通貨とする西アフリカの8カ国によって構成される「西アフリカ経済通貨同盟」（UEMOA）に加盟しています。そのため、トーゴはUEMOAの銀行委員会による経済的支援によって保証される経済的安定の恩恵を受けており、自由主義的な為替規制を享受しています。UEMOAの金融市場には、投資家が参加することができます。また、数多くの銀行や、いくつかの金融機関が存在しています。

トーゴの銀行は、投資家に取引の安全や、取引を行うのに必要な保証などを提供できる健全な経営状態にあります。この経済政策は、政府機関の設置により維持されており、これらの政府機関は投資家に以下のようなサービスを提供しています。

1. トーゴの大統領のもとに商業・民間セクター促進担当の省庁が設置されたことは、ビジネス界における指導者が抱えている関心と、その発展のために彼らが働くことができるということを表しています。
2. トーゴ商工会議所 (CCIT) は、トーゴ人とビジネス関係を結んで、維持したいと考える経済取引をする人々にとって、最も重要な相談機関です。その業務執行者は交替したばかりです。社会的指導者や、国内外のビジネスパートナーに対して、組織や経済取引をする人々を紹介することが商工会議所の任務です。
3. 商工会議所には、企業手続センター (CFE) という独自の窓口があります。CFE は、投資家に代わって、会社の設立、変更、閉鎖の 手続を行います。設立のための手続を行うためには 14 日間かかります。しかし、それまでに、さらに 5 日間の準備期間が必要となります。
4. 保税地域運営協会 (SAZOF) は、保税地域でビジネスをしたいと考える投資家を歓迎し、共同企業体を組織します。
5. 中小商業企業・中小工業企業のための資金促進・保証を行う独立行政法人 (ANPGF) は、以下の任務を負っています。
 - ▶ 流通可能な資金に関して、正式に承認された金融機関を通し、中小商業企業、中小工業企業、経営支援セクター一般に貸付けの保証を与えて、会社への融資に関する問題解決の支援をする。
 - ▶ 中小商業企業や中小工業企業にとって有益となる投資家をリサーチして、取引可能にする。

通貨と金融制度・Currency and Financial System

金融制度は、国の経済成長と共に発展しています。西アフリカ諸国中央銀行 (West African States Central Bank) の他にトーゴ商工業銀行 (BCTI: Industrial and Commercial Bank of Togo)、トーゴユニオン銀行 (UTB: Union Togolaise de Banque)、トーゴ開発銀行 (BTD: Togolese Development Bank)、地域連帯銀行 (BRS : Regional Solidarity Bank)、大西洋銀行 (Atlantic Bank)、ファイナンシャル銀行 (Financial Bank)、インターアフリカンソサエティバンク (SIAB: Inter-African Society Bank)、サヘル・サハラ商工業銀行 (BSIC: Sahelo-Saharan Bank for Industry and Commerce)、アフリカ国際銀行 (BIA-Togo: International Bank for Africa)、そして貯蓄・貸付業務を行う庶民向けの金融機関 (People's Bank for Savings and Credit) があります。

ECOWAS 開発投資銀行 (BIDC: ECOWAS Development and Investment Bank)、西アフリカ開発銀行 (BOAD: West African Development Bank)、エコバンク (ECOBANK) グループなどの地域銀行の本部がトーゴに設立されることで、金融制度は発展してきました。さらに、欧州や北米の銀行の殆どはトーゴの銀行と業務提携契約を結んでいるため、観光客やビジネスマンにとっても便利です。

トーゴは外国の投資家にとって理想的な国です。トーゴ政府は自由主義的な投資コードや、投資家の法的保護措置を設けて、外資を引き込もうと積極的に努めています。

投資は、政府の開発に関わる優先事項を始めとして、ほぼ全ての経済分野への関心が必要となります。食品産業や、鉱業、輸送サービスや観光にも、多くの投資の機会があります。

エコツーリズムと国立公園・Ecotourism and National Parks



トーゴは、北にブルキナファソが、東にベナン共和国が、西にガーナが、南に大西洋がある西アフリカに位置する国で、ヨーロッパから 6 時間のフライトで到着します。面積は 5,600 km²とあまり広くはない国土ですが、アフリカのありとあらゆる種類の景観を見ることができます。

トーゴは自然や多様性を好む方々のお気に召すことでしょう。ビーチの細かな砂の上には、湖や海に沿ってココナツの木が植えられており、南西部の高原や山脈の滝からは水しぶきが湧き出て涼やかにさせ、また北部から中央部にかけて広がるサバンナには樹齢千年のバオバブの木があり、それらの幾つかは国立公園に移植されています。

サファリの写真やエコツーリズムの愛好家たちは、その活動に好都合な自然環境をここに見出すことでしょう。それに加えて、それぞれ固有の言語や慣習を持つ、約 40 部族からなる 650 万人の住民からのもてなしは高い評価を得ています。

エコツーリズムの自然環境・Natural Environment of Ecotourism

トーゴの多様な生物は、エコツーリズムに好適な多様な自然環境を作り出しています。気軽に日常生活に迎え入れてくれる住民と触れ合いながら、さまざまな活動を心ゆくまで楽しむことができます。

トーゴ湖とモノ川・Lake Togo and Mono River

トーゴ湖は、首都ロメから東に車で約 30 分ほど行ったところにある素晴らしい湖です。ここでウィンドサーフィンやボートなどの水上スポーツを行ったり、水浴をしたり、細かくさらさらした砂浜でくつろいだりするのに適しています。またこの国の名前の由来になったトゴヴィルという歴史的な街がある対岸の方角にカヌーに乗って進んでいくと、伝統的な釣りが行われている光景を眺めることができます。探検好きの方なら、カヌーに乗ってマングローブやココヤシの林を通り抜けて、潟湖へとつながる水の流れに沿って下っていくと、トーゴ南部のベナンとの国境となっているモノ川まで行くことができます。

高原州・Plateaux Region

希少植物が茂っている高原州の西側は、エコツーリズムに最適の地帯です。ロメから北西に 120km の場所に位置するパリメから、この一帯全域の素晴らしい自然を観察するための探索に行くことができます。

旅程上、パリメに着く前にトーゴの最高峰であるアグー山(986m)を歩いて通り抜けることになるでしょう。ここでは、食糧を育成する耕地が拡大されたにもかかわらず存続している美しいヤシ園が見られます。さらに、コーヒーの木、カカオの木、果樹もみられる山腹の趣ある村の間を横切る道を歩いていくと、この地域全体の景色を眺望することができる山の頂上に至ります。

山を下って、道路に戻ると、暫しの休息をする場があります。ここにはコーヒーやカカオの苗床があり、この地域のさまざまな生産品についての詳しい説明を受けることができます。

滝は数多く、大小様々なものがありますが、いずれの滝も爽やかな雰囲気、この緑の楽園は必ずお気に召すことでしょう。観光ガイドや、アソシアション・ド・ラ・デクベール・ドゥ・トーゴ・プロフォン (ADETOP) という、この地域に多くある中でも最も有名なエコツーリズムの協会などの案内に従って、歩を進めていくと、この地域特有の多種多様な生物や、高い栄養価や治癒力を持つ植物、さらにクロト山ではさまざまな色の鳥や蝶の生息地などを発見することができます。もしよろしければ、コミュニティの再植林や、環境維持活動、またキャンプファイヤーを囲んでの民族のパーティーなどにも一緒に参加してみてください。

冒険に夢中になった方は、熱帯雨林を深く進んでいくことができます。そして辿り着いたところには、素晴らしい気候に恵まれたダイエの台地があります。そこからバドゥの街から程遠くない場所にあるアコロアの滝という国内最大の滝の一つを訪れることができ、その水には治癒力があるとされています。この驚くべき自然を見るために山や谷を越えて体力を消耗した後には、ここで水浴びをすることで癒されて、旅の苦勞が必ず報いられるでしょう。

バドゥから、東側の台地に向かう道路を行くと、丘の上に築かれた、趣きあるアタパメの街に着きます。そこからは、周辺の谷の美しい全景を見渡すことができます。

アタパメから南東に下っていくと、モノ川の中流に、ナンベトの水力発電用ダムがあります。地元の人に案内されながら辛抱強く歩き続けていくと、運がよければ、人工の湖や川岸で昼寝をしているカバを見ることができます。

中央州・Centrale Region

ファザオ・マルファカッサには野生生物が保たれており、レイヨウ、象、バッファロー、鳥、霊長類の動物などがいて、サファリの写真愛好家にとってはとても魅力的な場所です。プール付きの快適なホテルが、あなたをお迎えいたします。

ダンジェリとナングバニの溶鉱炉は、古代に鉄が採取されていたことを示しています。中央州の大平原にはマンゴーやオオゴチョウなどがあり、また食料栽培の景観も見られます。

カラ州・Kara Region

カラ州は火山山塊によって成っており、石でおおわれた土壌での階段耕作の技術で有名なカビエ族が住んでいます。ヤマノイモ、キビ、ピーナッツ、マンゴーや、その他の果物が栽培されています。観光客はデファレ山脈やテンベルマ城を見ることができ、さらに象、水牛、レイヨウ、鳥、霊長類などの動物がいるケラ国立公園を訪れることもできます。またカラ州は興味をそそるフォークロアでも有名です。

サバンナ州・Savannes Region

イワハイラックスが豊かに茂り、青々とした山々によって、奇妙にも分断された非常に平坦なサバンナの植物によって成っています。サバンナ州には主にパルミナヤシが生息し、またライオンの巣穴や、象の群れなども見られます。

トレッキングのできるカビエ山・Mt. Kabye Nice for Trakking

さらに北へと足を延ばして、アレジョ山を越えていくと、ロメから 412km 離れたところに位置するカラの街に着きます。カラの街の東側にはカビエ山がそびえており、その斜面は侵食されています。雨季の初めである7月には、この山の斜面で段々畑で耕作をする様子が見られますが、これはこの環境特有の文化的な技術です。7月の第2土曜日からは、伝統的な格闘技であるエヴァラが始まります。また、人が密集して住んでいるこの山でトレッキングをして、さらに大きな石で鉄を鍛えている鍛冶屋や、素晴らしい陶工などの、大切に守られてきた職人の伝統を見に行き、楽しむことができます。またこの地域での滞在中に、カビエ山と同時に、サラカワ公園を訪れるといいでしょう。

クタマク・Koutamakou

カラの地域から少し北に位置するところには、ユネスコ世界遺産に登録されているクタマクの文化的景観を見ることができます。



この 500 km²の広大な土地には、粘土でできた砦となっている伝統的住居「タタ」が建築されており、地元住民によって大切に保持されています。地元の人に案内されて歩いていくと、タタを見たり、この自然・文化環境に適した建築技術を持った住民達に会うことができます。タタは、神、人、動物が宿る場所です。聖なる森や、独自の墓地など、この特別な価値のある文化的景観の神秘を発見することは、とても楽しいでしょう。

ファザオ・マルファカッサ国立公園・Fazao-Malfacassa National Park



国の中央部にあるファザオ・マルファカッサ山脈を背にして、豊かな植物でモザイク状に覆われた公園があります。この公園には、美しい森林園や、甘美な香りで有名な多種多様な植物が広がった肥沃な平野があり、その下にはスイギュウ、象、レイヨウ、ハーテビースト、コップ種の馬、イボイノシシなどの群れが歩いているのが見られます。

この 192,000ha の敷地にあるファザオ・マルファカッサ国立公園は、鳥、霊長類、爬虫類、その他の面白い動物達の保護地区でもあります。公園は 12 月から 4 月まで開園しています。

この公園を管理運営しているスイスのフランツ・ウェーバー財団は道路や監視所を修復し、動物を保護するために、監視を強化しています。この修復には 25 部屋あるホテルの建設を含めることになっています。そのホテルは、住民が温かくもてなしてくれるファザオの村の近くにあり、この公園の中心部に位置しています。

ケラン国立公園・Keran National Park



この公園は、カラから 92km 北に、南のケラン県と、北のオティ県にまたがっており、自然を愛する人にとって理想的な場所です。ケラン国立公園は、163,000ha の敷地に広がっています。木が生い茂り、美しい森林園があり、丘がそびえる平野には、クマツヅラ科、ジャケツイバラ科、クワ科などの、あらゆる植物が植生しています。

動物は、スイギュウ、レイヨウ、ハーテビースト、コップ種の馬、イボイノシシ、霊長類、ワニ、ニシキヘビなど、40 種類以上からなっており、鳥類の種類も豊富です。

持続的開発のための具体的管理運営の問題のために、今後の再開園を目指して地元住民と共に公園のサイズ変更が始められています。そのような見通しのもと、公園の中心に位置するナブルグ・モーターの修復も予定されています。

サラカワ公園・Sarakawa Park



サラカワ公園は 1,500ha の敷地にあり、カラから約 20km 北西の、トーゴ北部に位置しています。確かに小さな公園ですが、多様な植物や、特に現地の動物達（スイギュウ、コップ種の馬、ハーテビースト、ヒヒ）、また他の地域から来て、この環境に順応した動物達（シマウマ、ヌー、ケープタウンのオリックス）などが見られます。

木が茂り、山や丘に囲まれたサバンナの植物の中で、クロウタドリ、スズメ、コガモ、キジハト、野生のホロホロチョウの群れ、ダチョウ、エミューなどの、豊かな鳥類を公園は保護しています。

今後の開発計画としては、サラカワ公園は、隣接するジャムデに統合されて、多様な動植物の保護地域になることになっています。

現在までに、サラカワ公園は、国立公園の中で最も訪問者数が多いのですが、それは訪問者は動物達を見つけるまでに長い距離を歩き回らなくても、いつでも動物達に会うことができるからです。

宗教・伝統・芸術・Religion, Tradition, and Art

宗教・Religion

トーゴは、国内に暮らしている民族集団に守られてきた独自の伝統や文化の宝庫です。アニミストであろうが、クリスチャンであろうが、イスラム教徒であろうが、伝統的な首長権に基づいた構成の、同じような社会組織がトーゴ全体にあります。

トーゴは慣習、歌、踊り、服飾、家の種類等においては大変多様であり、間違いなく文化的価値の宝庫であります。

トーゴでは人々は宗教に関してとても熱心であり、それは教会の数の多さや出席率の高さからもお分かりいただけると思います。48%がクリスチャンで、12%がイスラム教徒ですが、トーゴ人の殆どがアニミズム（40%）の慣行を行います。アニミストは多神教で、人々と自然の力や超自然的な力を結び付けています。

その慣行とは、地域や民族によって大きく異なります。

トーゴ人の多くは神の存在を信じており、また人間と神の間を仲介する二次的な神の存在も信じています。それらの二次的な神とは、ブードュー、トロン、チョチョ等です。

さらに、トーゴの全ての民族は、人々が享受している命は尊重すべき神からの贈り物であると信じています。ブードュー教の慣行は、特に南部で行われています。ブードュー教は、レグバ、ヘビエツソ、ダン、エグー等の偉大な精霊が信仰されているハイチで一般的な宗教です。北部においてもアニミズムは盛んです。

伝統的なお祭りとフェスティバル・Traditional Festivals

伝統のお祭り・祭典カレンダー

Traditional Festivals and Festival Calendars

トーゴでは、アフリカの他のどこよりも、過去と現在とが密接に結びついています。外国から来た宗教がある一方で、あちこちで伝統や習慣が見られ、それらは活力にあふれています。数えきれないほどの民族儀式や祭りがあり、それらは人生にリズムを与える賑やかで生き生きとした行事であり、訪問者にとってはこの国の文化的価値を楽しむことができる機会です。

クダパーニ（オチ県の収穫祭）

KOUDAPAANI (Oti Harvest Festival)

かつては「クルビ」と呼ばれる若い女性の宗教的儀式でしたが、現在は肥沃であることや収穫を意味する「クルビ・ダク・チグバンパーニ」という語を縮めた「クダパーニ」という新たな名称で知られています。オチ県の住民は、平和が永続することや、彼女達の間になんか新たに確固たる絆が結ばれることを願って、県の祭りの新しい名称を取り決めました。またこれは友愛や、平和を愛する者たちの連帯感を伴い、死者の魂を崇拝する祭りでもあります。毎年、1月第4土曜日にマンゴで祝われます。

ガダオ・アドッサ（チャウジョ県テムの宗教的儀式と収穫祭）

GADAO-ADOSSA (Religious and Harvest Festival of the Tchaoudjo Tem)

ガダオ・アドッサという名称は、テムの二大行事を合わせて指す表現です。つまりガダオはテム族の、アドッサは非常にイスラム化しているディダウ族のコミュニティの行事を指します。ガダオの歴史は、タバロという場所に涸れることのない泉水が湧出したことに関連しており、モラの族長はそこに赤いシェシア帽を残して水浴したと言われています。それ以来ガダオは伝説となり、先祖に豊かな収穫を感謝するための有名な場所になりました。



アドッサは、デアデュレに住むトラオレ族、トゥレ族、メンデ族、シセ族、フォファナ族が行う、短剣の踊りです。これはイスラム教の太陰暦の3番目の月に行われます。ガダオ・アドッサの行事はソコデで祝われるのですが、イスラム教の伝統的な暦（太陰暦）にしたがって行われるため、固定された月に行われません。

ティスルム・ディフォイニ・オブダム（ケランの収穫祭と成人式） TISLUM-DIFOINI-OBOUDAM (Harvest and Initiation Festival in Keran)

ケランの住民が集まるこの祭りは、豊穡な収穫を与えてくれたことに対する神様や先祖への敬意を表しています。これはまたケランの住民が、彼らの習慣や伝統の豊かさを示し、異文化の受容による古い伝統に対する若者のコンプレックスを脱ぎ捨てさせる機会でもあります。この祭りは2月第2土曜日にカンテで祝われます。

エヴァラ（カビエ族の成人式） EVALA (Initiation Festival in the Kabye Land)

エヴァラは、カビエ族の住む地域で行われる格闘行事です。エヴァルと呼ばれる若い格闘士たちが、他の成人男性と共に、彼らの強さ、忍耐力、そして踊りを際立たせる機会です。この成人式の宗教儀式は、1月中に家ごとに個々に行われ、18歳の若者は大人の仲間入りをします。最終儀式は7月の第2土曜日にあたる11日、12日、13日、または14日に始まります。またそれは1週間続き、県のすべての地域で行われます。



ジウウザ（クロトのエウエ族の収穫祭） DZAWUWU-ZA (Initiation Festival in the Kabye Land)

クロト県における祖先への信仰に基づいた文化的行事です。またかつては、神様や死者の魂のために、祭りの最中に、作物の初穂（トウモロコシ、インゲンマメ、ヤマノイモ、マニオク、米など）で用意された料理を振舞っていました。この祭りはパリメにおいて、毎年8月第1土曜日に祝われます。

シントウ・ジャンジャアグ（ドゥフェルグのランバ族とナウデバ族の収穫祭） SINTOU-DJANDJAAGOU (Doufelgou Nawdeba and Lamba Harvest Festival)

ドゥフェルグ県の住民による、毎年4月第1土曜日に行われるお祭りです。このお祭りは、ナウデバ族やランバ族などドゥッフェルグ県にいる民族の最も典型的な儀式、行事、踊りが集約されており、この県の住民の文化の交流点であることを目指しています。またこれらの踊りは先祖の思い出を敬い、また豊かな収穫に対して先祖や全能の神に感謝して、これからの季節を祝福するためでもあります。このお祭りは、ニャムトゥグで行われます。

ホグゼバ (ヨトのエウエ族の伝統的祭り)
HOGBEZA (Historical Festival of Yoto Ewes)

このお祭りは、この県の伝統主義者の研究によると、16世紀始めにエウエ族の祖先がノチエからの大きな集団移動をして、この地域に住み着いたことを想起させます。ジャと呼ばれる畑の初穂の奉納をしたり、神や死者の魂の恩恵を嘆願するなどの宗教的背景のもと、8月第3土曜日に祝われます。このお祭りはローテーション式に行われますが、最初の奉納はいつもアヘペ・クポウラ・アホンペで模範として行われます。

アイザ (ジィオの収穫祭)
AYIZA (Harvest Festival in the Zio)

エウエ族の歴史によると、ツェビエの街の始祖は南部に移住し(1720年に遡るノツェの集団移動)、疲れきって無一文であったため、インゲンマメの種を蒔きました。旅路を再開する際に、種蒔きをした人たちは収穫を待つように強く求め、抗議しました。そこから(生産する)と「ビエ」(少し)から来た「ツェビエ」という現在の名称になりました。アイザは、インゲンマメを意味する「アイ」という語から来ており、毎年8月第2土曜日にツェビエで行われます。

オドン・イツ (オグの収穫祭)
ODONO-ITSU (Ogou Harvest Festival)

この祭りは、オグ県のイフェ族(アナ)によって祝われます。「オドン」は祭りを意味し、「ツ」は穀草一般やヤマノイモの塊根などを生やす、神秘的な力を持った大地の精を意味します。このヤマノイモの祭りは、毎年7月の最終週にアタパメで行われ、宗教儀式や、恵みの大地に捧げる伝統的儀式などによって特徴づけられます。

キリプコ (チャンバの収穫祭)
KILIPKO (harvest Festival in Tchamba)

豊かな収穫や、驚異的な時代の到来を祝うお祭りです。新しいヤマノイモが消費され、また神(死者の魂、双子、守護精など)への奉納による儀式が行われます。摂理、豊饒、神聖の月となる8月の第1土曜日に毎年、チャンバ(行政中心地)で祝われます。

ババザ (アグのエウエ族の収穫祭)
GBABA-ZA (Agou Ewe's Harvest Festival)

アグーのエウエ族の文化・宗教的行事です。ババの女神が中心として、さまざまな神が、この行事を取り巻いています。森、平原、アグー山脈などの神として崇められている「アペトフィア」もいます。この神は、年一回、本物の野獣(ライオン、ヒョウ、トラなど)となって現われます。ババの祭りでは、新しいヤマノイモを食します。毎年8月第1土曜日に、県の行政中心区で祝われます。

ドポントル / ンダック (バサール族のドポントルと、コンコンバ族のンダックという収穫祭)

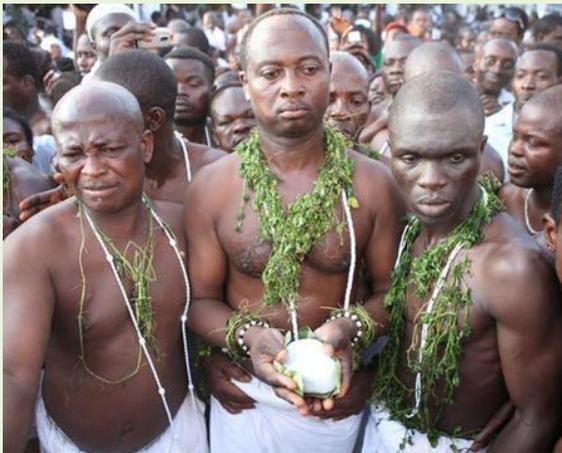
D' PONTR/N' DACK (Harvest Festival among the Bassar/Konkomba)

この祭りは、バサール族とコンコンバ族の新年を表しています。ドポントルとンダックの意味は、この地域のヤマノイモの文化にあります。ドポントルとンダックは、バサール族とコンコンバ族にとって、一年間の労働による収穫を感謝し、また神様や、祖先の魂に感謝の印として初物を捧げる機会です。このお祭りは、毎年9月第1土曜日に、バサールと、県の行政中心地であるゲリンクカで、交互に祝われます。

アボボザ (エウエ族の歴史的祭り)

AGBOGBO-ZA (Ewe' s Historical Festival)

アボボザは、宗教的儀式としての意味合いだけでなく、17世紀にエウエ族が集団移動したことを記念するという歴史的意味合いがあります。これは民族四散したエウエ族の最も大きな伝統的祭りです。最初の宗教的儀式は、毎年9月第1木曜日にノツェで始まります。祭りの最高潮は、同月の第1土曜日に、同じ街で迎えられます。



エペ・エペ (ゲン族の歴史的祝祭)

EPE-EKPE (Historical Feastday of the Guen)

エペ・エペは、西アフリカ全体において、おそらく最も人口の多い民族であるゲン族の歴史的祝祭です。エペ・エペは、1663年に湖水地帯であった一帯に住み着くため、17世紀にガーナからやって来たゲン族独自の祝祭です。祝祭の核心であり、その周りで様々な祭典が行われる聖なる石を採るエペツソという儀式が行われます。この祝祭は、ゲン族の正月を表しています。決まった日付はなく、一般的には毎年9月に行われますが、まれにグリジ・ポーズでは8月に行われることもあります。

シンカリング (ビナーのカビエ族の成人式と収穫の祭典)

SINKARING (Harvest and Initiation Festivals in the Binah)

シンカリングの語源は、サンクーという手を洗い清めるという意味の動詞と、カルーという人生の挑戦に備えるという意味の動詞を合わせたものです。ラマ・テッシに由来するシンカリングは、ビナーの若いカビエ族がコミュニティを護れるように、忍耐と強さを身に付ける試練を与えます。つまり、これは大人としての仲間入りをするための試験なのです。また、歌と踊りの後には、インゲンマメの揚げ物や、地元の飲み物、新たに収穫された果物などの試食があるため、これは収穫の祭典でもあります。地域から地域へと、ローテーション形式で行われ、毎年12月の第1土曜日に祝われます。

オヴァズ (アポッソ・アケブの収穫祭)
OVAZU (Harvest Festival in Akposso-Akebou Land)

「オヴァズ」は、「オヴァ」(フォニオという穀類)と「ズ」(祭り)を組み合わせたアポッソ族の言葉で、フォニオの収穫祭です。このお祭りは、豊かな収穫を与え、地域住民を守ってくれた神様に感謝するために行われます。歴史的には、フォニオはアクポッソ族に攻め込んできた敵との戦いにおいて、決定的な役割を果たしました。現在、フォニオはアクポッソ族の重要な食料です。オヴァズは、毎年12月の第2土曜日に、アムラメとバドゥ(県の行政地区)で交互に祝われます。

ハビエ (コザーのカビエ族の宗教儀式)
HABYE (Religious Festival among the Kozah Kabye)



魔力を表した踊りです。これは魔女の人知を超えた力を表す機会です。また成人のみが自然の力を制御することを互いに表す機会でもあります。5年毎に11月に行われますが、コザーの特定の地域では3年毎に行われます。

アジヌクザ (ヴォーの収穫祭)
ADZINUKU-ZA (Harvest Festival in Vo)

アドジヌクザは、エウェ族の方言から来ており、大地が生産する食料全体を意味しています。アドジヌクザは、大地の神に豊かな生産を与えてくれたことに対して感謝をするために祝われます。このお祭りは、8月第3土曜日に行われます。また地元住民のリクエストに応じて、ローテーション形式で行われます。

トベイ・アニ (モワヨン・モノのアジャ・タド族の収穫祭)
TOGBUI=AGNI (Harvest Festival Among Adja-Tado/Moyen Mono)

モワヨン・モノ県の南東に大半が住んでいるアジャ・タド族の伝統的祝祭です。これは「地の王」がタドにおごそかに出てくる、年間で唯一の機会です。幾つかの儀式が行われ、病人から悪魔祓いをしたり、先祖の魂や、恵みの大地に一年の豊かな収穫を感謝して、その恩恵を住民に恵与してもらうように嘆願します。タドは、「(病を)乗り越える」という意味である「アタウォアドエ」という言葉から由来しているとも言われます。民族四散したアジャのこのお祭りは、毎年8月第2土曜日にタドで祝われます。

テンバン・パブ (グロン・トーヌのモバ族の収穫祭)
TINGBAN-PAB (Harvest Festival among the Moba in Grand Tone)

毎年12月第2土曜日の、大収穫の後に祝われる伝統的祝祭です。さまざまな神様の慈悲深い行為によって、豊かな収穫がもたらされたことに対して感謝を捧げるためのおごそかな機会だとされています。県の行政地区で、ローテーション形式で行われます。

エウエモザ (ペレのエウエ族の収穫祭)
EWEMO-ZA (Harvest Festival among Kpele Ewes)

ペレの住民全員が集まるこのお祭りは、地元の米である「モ」の豊かな収穫の手助けをしてくれたことに対する神様や先祖への敬意を表するための機会です。また宗教的儀式や、清めの式、踊りなどを通じて、ペレの住民が彼らの慣習や伝統の豊かさを知る機会でもあります。街から街へと、ローテーション形式で行われます。最初の宗教的儀式は、毎年ペレで、12月第3木曜日に行われます。お祭りの最高潮は、同じ街で土曜日に迎えられます。

カマカ (アッソリのテム族の収穫祭)
KAMAKA (Harvest Festival among the Assoli Tems)

カマカの語源は、テム族の言葉で「ハンモック」を意味する言葉です。ハンモックは、年間を通して大量の収穫や、さらには農作物を捧げることにより貧しい人々を助けたことで勲功をたてた人物に敬意を評して運ぶのに使われていました。またそれはアッソリのテム族に豊かな収穫を与えてくれたことに対する先祖への感謝の印でもあります。儀式はバフィロにおいて、毎年12月第2土曜日に行われます。

現代の祭典・Modern Time Festivals

黒い神の祭典 **Festivals of Black Divinities**

黒い神の祭典は、ACOFIN という協会が、年に一回催す祭典です。この祭典は、11月か12月にトーゴ、アフリカのいくつかの国、または民族の離散地から来た芸術家のグループや、トーゴを紹介する協会を代表するグループなどが集まり、文化の邂逅がなされます。これはトーゴについて知っている人や、そうでない人、訪問者にも、万人に開かれており、歌や踊りや、奥深いアフリカの神秘に関する行事が行われます。

www.festivaldesdivinitesnoires.org

カビエ県のエヴァラの祭典 (FEPAK) **Evala Festival in Kabye Land (FEPAK)**

この毎年恒例の祭典は、成人式の格闘技であるエヴァラと同時に、カビエ族が7月中旬に行います。格闘技が行われる週を通して、民族ダンス、物語、なぞかけ、グリオのコンサートなどが、格闘が行われる街中で行われます。カラの街には、劇、音楽、ダンスなどが催される場所があります。

www.evala.tg

視覚芸術の邂逅と国際展覧会 (EWOLE)

International Visual Arts and Workshops (EWOLE)

これはロメや近郊の集落で2年ごとに行われる造形芸術の行事です。トーゴや他のアフリカの国の造形芸術化や、画家、彫刻家が出会うことを目指していますが、他の国の芸術家たちにも開かれています。このイベントでは、訪問者は、芸術家が作品に手を付けてから完成させるまでを見たり、その間に仕上げられる展示会を訪れることができます。

www.ewole.org

友愛の劇場の祭典 (FESTHEF)

Fraternity Theatre Festival (FESTHEF)

友愛の劇場の祭典 (FESTHEF) は、アッサフーンで定期的に12月に催されます。しかしこの祭典の多くの行事は、ロメや、他の近郊都市でも行われます。毎回、トーゴ、アフリカ、離散地や、ヨーロッパの劇団が文化会館で、アッサフーンや他の街のシーンの劇を行います。

www.festhef.org

芸術・Art

トーゴでは多様な手工芸品産業が大変盛んです。主な工芸品としては、木彫り彫刻、革彫刻、宝飾品、籠、ひょうたん製品、織物等が挙げられます。手工芸品は殆ど全ての市場やアートセンターで売られており、一般的にはロメのビジネス街に設けられた野外ギャラリーでも購入することができます。

トーゴは何千ものコントラストを持った土地であり、その最高の伝統手工芸品産業を喜んで訪問者に披露します。その材料は自然そのものによって提供されています。

素晴らしい砂のビーチ、美しい熱帯林に覆われた山々、何千ものバオバブの木が生息するサバンナ、そして日々の活動は何世代にも渡る職人達の創造源となっています。

沿岸州にある首都ロメでは、最も優れた原始的な工芸品を見ることができます。



ロメの都心に到着すると、訪問者はすぐに感激するでしょう。ロメの市場では、色鮮やかなビーズ、木、粘土、籠で出来た台所用品や神聖な彫像が目の保養になります。

お土産にはロメの中心にある「アーツストリート」(ビジネス街)か、もしくは古来の伝統技術が使われた、まさに生きたギャラリーと呼べる「アートビレッジ」を訪ねると、織物、ろうけつ染め、革細工、彫刻、籠、陶器等が手に入ります。



高原州には原料が豊富にあるため、彫刻を始めとする工芸活動が大変盛んになりました。一人で制作する職人もいれば、アートセンターでグループで制作する職人もいます。トーゴには木彫り彫刻、マクラメ編み、ろうけつ染め、陶器等、多様なお土産があります。

この地域で大変有名なクロトアートセンターでは、熱帯木材から作られた手工芸品を購入することができます。黒檀やマホガニーで作られた工芸品は、旅を忘れられない思い出にしてくれるでしょう。

アタパメでは織工の技術や、特に共同で制作している様子に感銘を受けることでしょう。

中央州も同様に様々な工芸活動を誇ります。この地域では毎週数多く市場が行われており、中でもブリッタ、パ

ガラ、アジェングルを始めとする市場では農具、ひょうたん製品、ショッピングバッグ等を買うことができます。

この地域の首都であるソコデは織物で有名です。織工が織った布はチュニックや、テム族の馬乗りが馬の上にとっかりと座り、太鼓の激しいリズムに合わせてアクロバティックな踊りを披露したりするフェスティバルの際に身に纏う刺繍が施されたブーブーという衣装を縫うのに使われます。

カラ州では、この地域の開発は農業と職人芸にかかっています。鍛冶の伝統は有史以前まで遡ります。

コザー県のピアやチャーレでは、山にある大きな石を鉄床や金槌として使って熱い鉄を打っている勇敢な鍛冶屋を訪ねるのも楽しいでしょう。これらの鍛冶屋はカスタネットを作ったり、侵食され易い丘の斜面で階段耕作をする際に必要な農具を造ります。

ケタオでは、タンカード、雑穀ビール、陶器のパイプ、籠、そして踊りのための衣装等、地元の工芸品が全て展示されています。

サバンナ地域では、手工芸品産業の中で最も重要な分野としては、籠、革製品、織物等が挙げられます。麦藁帽子、鳥かご、チリヤシの扇やスリッパ、財布、ハンドバッグ、革のブレスレット等、洗練された品物を地面に並べて展示する職人もいます。オチ県のクモング族の陶工は、美しい陶器や素晴らしい壺を展示しています。





音楽・Music

トーゴは音楽の国です。ロメから、最も人里はなれた村まで、音楽はありとあらゆる場所で奏でられています。首都では、伝統的に人気の音楽から、西アフリカで最新のダンスミュージック、街のクラブではトーゴのヒップホップ、現代風にアレンジされた伝統音楽、コンゴやコートジボワールの音楽、ズーク、サルサ、カリブのレゲエに到るまで、人々の音楽への関心は大変幅広いです。

しかし村では伝統音楽が守られてきた場合が多いです。讚美歌のバラードや女性がコーラスで

歌う打楽器合唱等です。楽器としては主にフルート、トランペット、様々な大きさのベル、弦楽器、大小様々な太鼓等が使われます。

このような音楽やセンセーショナルなダンスは、年間を通して行われる様々なフェスティバルの際に行われます。また、太鼓のコンテストが毎週日曜日の午後、首都の各地域で行われます。多くのホテルでは、伝統的な歌や踊りは日常的なイベントとなっています。近隣国の音楽グループもトーゴのミュージシャンによって構成されています。



踊り・Dances

地元の踊りに関しては、トーゴの約 40 民族それぞれが、各社交行事ごとに一つか或いは複数の踊りがあります。戦士の踊り、猟師の踊り、処女の踊り、竹馬の上に乗った曲芸師のような人たちが超自然的で宗教的雰囲気の中行う火の踊り「テュボール」や、「ハビエ」等、各地域ごとに特有の踊りがあります。

沿岸州では、ジョコトダンス（王族の踊り）、ベコンダンス、アジョグボ、アグバジャ等があります。

また、アペッセ（楽しい踊り）、チェベ(竹馬の踊り)、アデフーン（楽しい踊り）、そしてアジョグボ等が高原地域特有の踊りとして挙げられます。





さげで披露する踊りがあります。

中央州では、コッソダンス、タカイダンス、そしてシンパダンス（楽しい踊り）等があります。

カラ州ではソーダンスというお葬式の際に披露される踊りや、カムーというお祝いの踊り、そしてチムー、パジャ、コンドナ等があります。

最後にサバンナ州ではビンバダンスという男女の腰をコヤスガイで縛ったり白いビーズをぶら

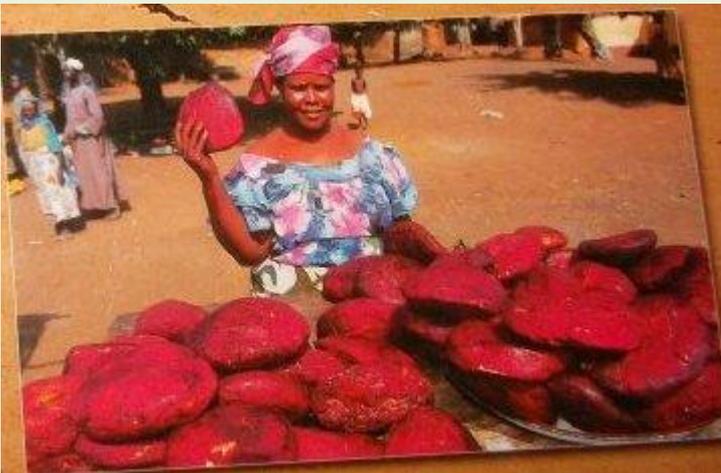
料理・Cuisine

トーゴは大変多様な調理法を誇り、その多様性のおかげでトーゴにある5つの経済地域は全てそれぞれの名物を維持してきたと言えます。

沿岸州には、汁物や多様な料理が多くあります。その名物の一つに、グリルされた或は揚げた鶏のスープの中に、トウモロコシの粉を入れて作った「ジェンクメ」という料理があります。また、この地域には多くの新鮮野菜を使った料理があります。例えば、「ベクイデッシ」というハウレンソウのソースや「アデメ」という粘り気のあるソースがあり、それらは「アクメ」と呼ばれるトウモロコシの粉をペースト状にしたものと一緒に食べます。これは多くの家庭で大変人気の料理です。また、「ハンヴィドッポメ」という豚肉にスパイスを塗して熱いオーブンで焼いた有名な料理があり、これはパーティーで出る特別な料理として「ガリ」と呼ばれるキャッサバ粉と一緒に食べます。



高原州では、「フフ」が一番人気の料理です。ヤマノイモの粉や、キャッサバの皮を剥いて茹でて粉状に潰したものを使って作ります。一般的には、ヤシの実ジュースを沸騰させて、



燻製魚又は肉と混ぜて調理して、粉状にしたものと一緒に食べます。または、「フフ」は鶏肉または燻製ニシンとピーマンと卵で作った軽いスープと一緒に食べることもあります。

中央州の名物料理としては魚や肉のソースをかけて食べる米と豆の料理で、一日に三回食べる「ワチェ」というものがあります。また、豆の粉でできたパンケーキ状の「ソウェ」という料理もあります。

カラ州では、「マウラッセ」という乾燥したオクラのソースを穀物ベースのマスタードを混ぜた料理があり、この地域の住民殆どの一番のお気に入りとなっています。

「コドロ」というバオバブの葉のソースは、狩猟肉とマスタードと一緒に調理します。このソースは、通常、雑穀やモロコシの粉をペースト状にしたものと食べる人が多いです。また、カラ地域には、「ティンディンネ」という野菜を含んだパンケーキ状の美味しい料理や「ベベルグ」等もあります。

サバンナ州は、スパイスの効いたグリルした鶏肉で有名です。「ヌレプイ」というソースも、他の料理と同様、この地域で大人気の名物料理の一つです。

街のレストランは、アフリカ料理や地方料理の専門店です。お客さんのリクエストに応じて、トーゴ料理が作られます。

観光名所・Tourist Spots

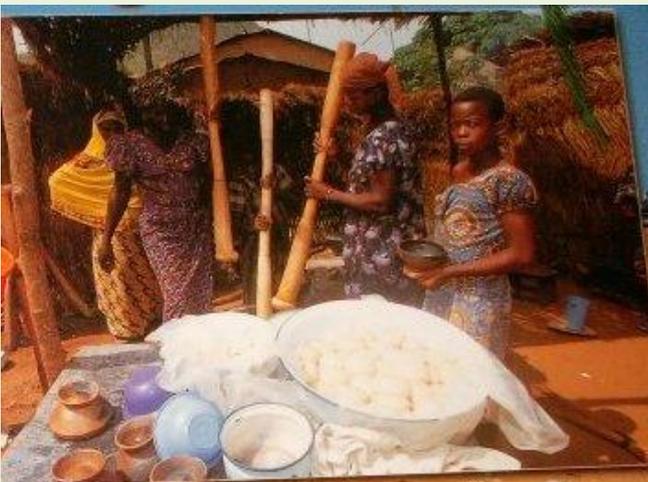


トーゴは大きな国ではありませんが、物理的にも人も多様であり、野生の動植物も多様です。訪問者はアフリカのミニチュアを体験することができます。これらは訪問者をトーゴに惹き付けて、光景に馴染んでいくように感じさせます。

1. 沿岸州・Maritime Region

ベナン湾岸にあるロメは首都であり、素晴らしい砂のビーチと、沿岸の木陰の散歩道で知られています。ロメはガーナとの国境にあり、国境にある唯一の首都でもあります。街の衛生面の良さや、人々が親切に迎えてくれるという点で傑出しています。

ロメでは下記の場所を観光することができます。



- ・ アダウラトの大市場：腰巻き売りを専門としている「ナナ・ベンツ」と呼ばれるアフリカの裕福で有力な女性達が大半を占めており、布の販売で知られています。
- ・ ドラナウォエの市場は、中古品の販売で有名です。
- ・ アコデッセワの宗教グッズの市場は、異教徒や地方の伝統薬に関心がある人達の場所です。

- ・ ロメの大聖堂はドイツによる植民地時代に建てられたもので、ロメの中央市場の近くにあり、ゴシック様式で、聖堂内にはカトリックの珍しい聖人のフレスコ画が描かれています。トーゴの殖民の名残が見られます。
- ・ ロメの国立美術館は、会議室の後ろにあり、歴史的物品や民族的物品、そして素晴らしい伝統芸術の例を見ることができ、トーゴのアイデンティティを垣間見ることができます。
- ・ ギニア湾国際美術館は大西洋に面したモノ通りにあります。ここには、アフリカ諸国の民族的物品が集められています。

その他にも、独立の記念碑や、平和の鳩、ドイツとトーゴの友好関係 100 年目の記念碑、工芸職人の村など様々な見所があります。

ベナンに向かって、ロメから 30km ほど行ったところにトーゴ湖があり、水上スポーツやカヌーをするのに最適な場所です。また、アグボドラフォは都会の喧騒から離れて、ゆっくりと過ごすのに素晴らしい村です。

さらに、奴隷の家、木の家、「ガトヴデュ」（鎖に繋がれた者の泉）、ロラメ・ブラック・スミス、アホエタにあるアルメイダのジョアシム記念碑等を訪れるのも良いでしょう。

また、トーゴ湖の北岸には歴史的な村であるトゴヴィルがあり、そこでは聖母マリアの礼拝堂や、ムラパ王美術館、物々交換市場（プロコティッシメ）、ラ・マモンの祭儀や、チャンバ・フラン・ブーデュー等の伝統的な慣行を見ることができます。

歴史的な街であるアネホには植民地時代の魅力があります。アネホは 1889 年から 1897 年までと、1914 年から 1920 年まで、トーゴの首都でした。周りが潟湖や海に囲まれていて、ビーチをお散歩したりゆっくりと過ごすのに理想的な場所です。

ホテルは「デュ・フェヴリエ」（2 Février）や、ロメの中心にある「オテル・イビス」（Hôtel Ibis）、ロメの「オテル・メルキュル・サラカワ」（Hôtel Mercure Sarakawa）、アグボイドラフォの「オテル・ル・ラック」（Hôtel le Lac）や、トゴヴィルの「オテル・ナトヒガル」（Hôtel Natchigal）等があります。どれも空調完備されており、さらにテニス、水泳、ダンス等の娯楽を楽しめる施設もあります。

大きなホテルのレストランの他には、この地域には地元料理、欧州料理、アジア料理等の様々な料理を楽しめるレストランがあります。マロックス（Marox）、アルトミュンヘン（Alt Munchen）、ロトユス（Lotus）、マレサン（Malesan）など色々とあります。

2. 高原州・Plateaux Region

高原州に行くには二通りの行き方があります。ロメとアタパメを結ぶ国道一号線か、またはロメからパリメを通してアタパメの街に出る国道二号線を通っていくことができます。

西域はおそらくトーゴで最も美しい観光地の一つでしょう。高原州西域は沿岸州とは対照的に緑の景色が広がっています。沿岸から数メートル行くと、豊かな植物のある自然の中へと辿り着きます。



パリメの村のコーヒー及びカカオの栽培の主要地域と、バカンスのためのリゾート地は、週末の休息場所となっており、数多くの観光名所があります。トーゴで最も高いアグー山（986m）、トヴェのコーヒーとカカオの苗床、クロト美術センター、ヴィアルのお城、クロトのキャンプ場、ゾグベガンの修道院、ダンイの高原、数々の滝等があり、特にアクロワの滝の水は癒しの効果があるとして知られています。

高原州の西域は素晴らしい自然に恵まれており、エコツーリズムに最適です。

高原州の東域には、アタパメのような面白い都市があります。アタパメは丘の上に建てられた街で、周囲には谷のある全景が眺望できます。その他にもタド、ノツェ、エウェ・アジャ族の発祥の街などがあります。

ノツェの「ル・ベルソー」 (Le Berceau)、パリメの「ル・トロント・ウー」 (le 30 Août) と「ル・クリスタル」 (le Cristal)、アタパメの「ホテル・ロック」 (Hôtel Roc) と「ル・サハリアン」 (le Sahalien) は、それぞれの街であなたの滞在をお待ちしております。

これらのホテルや、その他のホテルとしてはパリメの「ル・ベル・エール」 (le Bel Air) や「ル・グルネ」 (le Gournet) や、アタパメの「ル・ペンタゴン」 (le Pentagone) や「ラ・マドン」 (la Madone) 等は大変オススメです。格別のサービスであなたをお迎えします。

また、その他の組織や、NGO 等も地域の観光やエコツーリズムを促進するための活動を行っています。

3. 中央州・Centrale Region

中央州は 13,000 k m²の面積に広がっており、20%以上は保護地域または保安林です。そこには約 476.903ha の面積に渡るファザオマルファカッサ国立公園も含まれており、それはフランツ・ウィーバー財団によって運営されています。

中央州は文化的な重要な強みを持っています。州の首都であるソコデは国の中で最も大きなイスラムの街で、ブーブーという民族衣装やチュニック等の織物で有名です。この街は、パラオという街やその周辺の共同体における族長支配体制の影響を受けて、騎馬の伝統を受け継いでいます。



最東域にはチャンバという街があり、ひょうたんや瓶の焼き絵で有名です。これらの工芸品は、地元の人々で賑わう市場で見つけることができます。そこには素晴らしい織物を纏い、刺青をしたフラニ族の女性も多くいます。

滞在中は「アレエリデ・オテル」 (Aléhéridé Hôtel)、「オテル・ソントラル」 (Hôtel Central)、「オテル・エッソファ」 (Hôtel Essofa)、「オテル・アヴェ・ケディア」 (Hôtel Ave Kedia) 等に泊まったり、「シェ・マルコ」 (Chez Marco) のようなレストランに行くと良いでしょう。

4. カラ央州・Kara Region

カラ州は、おそらくその自然と文化の多様性においては、トーゴで最も豊かな地域であると言えるでしょう。そこには数多くの観光地があります。人間が作ったアレジョ山の断層のおかげで、それらの観光地に行くことができます。また、カビエの地の陶工や鍛冶屋によって先祖代々受け継がれてきた芸術や技術はととても見事なものです。

また、この地域は丘の傾斜での階段栽培の技術で有名です。さらに、カラ州には「エヴァラ」と呼ばれる伝統的な格闘の伝統があり、毎年 7 月に行われます。この地域の主要耕作物はヤマノイモ、アワ、キビ、ラッカセイ等です。

ケタオのように、大変賑わった色鮮やかな市場は、あちこちにあります。これらの市場は地元の人々が出会う場となっています。



バサールと同様に、この地域の人々はバンジャリやナンバニの影響を受けた彼らの伝統を守ってきました。祖先から受け継いできた鉄の仕事のノウハウが証明しています。

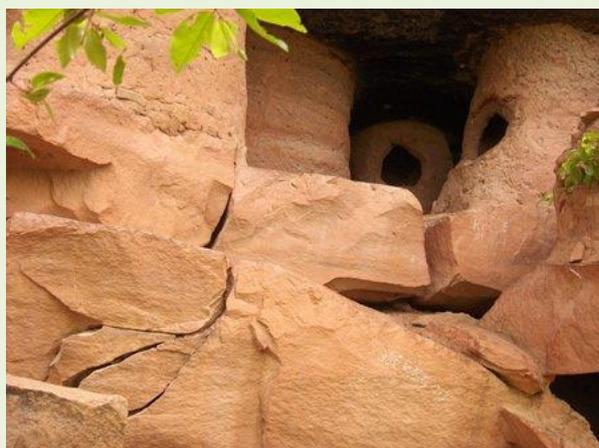
訪問者はジャンベの近くのサラカワ公園をお散歩することができます。

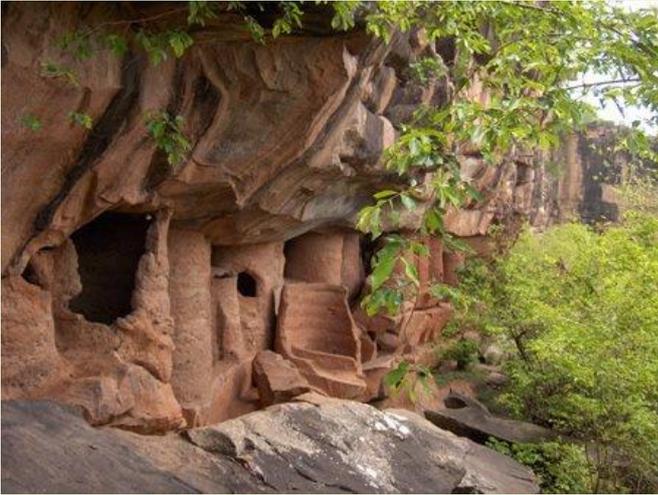
カラ州の北部には、ユネスコの世界遺産に登録されている「クタマク」の文化的景観が広がっています。クタマクは、「タタ」と呼ばれるお城を小さくしたような形の家の伝統であり、その建築技術はこの地域に暮らすバタマリバ族によって何世代にも渡って敬称されてきました。この地域には、オテル・ド・カラ (Hôtel de Kara)、オテル・ド・リュニオン (Hôtel de l'Union)、オテル・ド・ラ・コンコルド (Hôtel de la Concorde)、オテル・ド・マリー・アントワネット (Hôtel de Marie-Antoinette) 等のホテルがあります。

5. サバンナ州・Savannes Region

非常に平坦な土地で、奇妙にも緑色の山が所々にあり、また「ダナム」と呼ばれる岩が豊富にあります。

この地域はヤシから作られる素晴らしいワインの生産地でもあります。訪問者はデュンの神聖な穴や、ナヌンジョガの洞窟壁画、ノック (ナノ) の洞窟等、歴史的・文化的名残が見られます。





トーゴとガーナの国境にあるカリャタの「タンロナ」という神聖な穴や、マンドユリの禁猟区等も訪問することができます。大河が流れるオチ県は広大な平原です。

訪問者の滞在場所としては、オテル・ド・ダパオン (Hôtel de Dapaong)、キャロリ・オテル (Caroli Hôtel)、キャンピング・ダパオン (Camping Dapaong)、レオタ・イエンドゥベ・ホテル (Leota Yendoubé Hôtel) 等があります。

旅に役立つ連絡先・Useful Contact Information

ホテル・Hotels

****LOME****

HOTEL MERCURE SAKAKAWA (ACCOR GROUP) Tél. (228) 22 27 65 90 Fax (228) 22 27 71 80

HOTEL "2 FEVRIER" Tél. (228) 22 21 00 03 Fax (228) 22 21 62 66

HOTEL SANCTA MARIA Tél. (228) 22 22 92 92 / 22 22 93 93 Fax (228) 22 22 93 94

HÔTEL SAINT-THOMAS Tél. (228) 22 21 51 99 / 22 21 87 05 / 22 21 81 75 Fax : 22 21 69 33

HOTEL PALM BEACH Tel. (228) 22 21 85 11 Fax (228) 22 21 87 11

HOTEL IBIS LOME-CENTRE (EX-LE BENIN) Tél. (228) 22 21 24 85

HOTEL BELLE VUE Tél: (228) 22 20 22 40 Fax: (228) 22 20 68 64

HOTEL COCO BEACH Tél: + 228 22 71 45 39

HOTEL CÔTE SUD Tél (228) 23 36 12 70

DREAMS HOTEL Tél. (228) 22 20 98 51

HOTEL KRIMAS Tél (228) 22 22 30 04 Fax (228) 22 22 26 92

HOTEL EPSILON Tél : (228) 23 36 01 50 Fax : (228) 22 25 00 55

HOTEL EQUATEUR Tél/Fax: (228) 22 21 99 92

HOTEL MODESTIE Tél. (228) 22 22 54 46

HOTEL L'ESCALE Tél / fax : (228) 22 61 38 58 / 22 26 54 18

HOTEL AURORE Tél. (228) 22 21 05 17

HOTEL MARIE-ANTOINETTE LOME Tel/Fax:(228) 22 50 73 01

VERONICA GUEST HOUSE Tél (228) 22 22 69 07 - 222 96 98 Fax (228) 22 22 69 03

HOTELS NAPOLEON & HOTEL NAPOLEON LAGUNE Tél. (228) 22 27 56 66

****ANEHO****

HOTEL OASIS Tel: (228) 23 31 01 25

HOTEL THE FIRST Tel: (228) 23 31 03 04

****AGBODRAFO****

HOTEL LE LAC Tel: (228) 23 35 00 35

HOTEL MAISON BLANCHE Tel: (228) 23 31 60 14 / 23 32 60 15

****TSEVIE****

HOTEL DU ZIO Tél : (228) 330 40 36

HOTEL SAINT GEORGES Tél : (228) 23 30 00 51

****KPALIME****

HÔTEL CRISTAL Tél/Fax (228) 24 41 05 79

HOTEL AGBEVIADÉ Tél. (228) 24 41 05 11

GRAND HÔTEL 30 AOUT Tél : (228) 24 41 00 95

HOTEL CHEZ FANY Tél. (00228) 24 41.00.99

HOTEL LE GEYSER Tél. (228) 24 41 04 67

****ATAKPAME****

ROC HÔTEL ATAKPAME Tél (228) 440 02 37 Fax (228) 440 00 33

RELAIS DES PLATEAUX Tél: (228) 24 40 11 05

****SOKODE****

NOUVEL HÔTEL CENTRAL DE SOKODE Tél (228) 25 50 01 23

HOTEL ALEHERI Tél : (228) 25 50 16 70

HOTEL AVE KEDIA Tél : (228) 25 50 05 34

****BASSAR****

HOTEL BASSAR Tél: (228) 26 63 00 40

HOTEL PARADIS Tél: (228) 26 63 03 60

****KARA****

HÔTEL "KARA" Tél (228) 660 60 20 / 660 60 21 / 660 60 22

HOTEL MARIE ANTOINETTE Tél: (228) 26 60 60 20

HOTEL MIRA Tél: (228) 26 61 02 49

HOTEL CONCORDE Tél: (228) 26 60 03 35

HOTEL DE L'UNION Tél: (228) 26 60 14 88

HOTEL LEOTA ESSO Tél: (228) 26 26 60 13 32

****DAPAONG****

HÔTEL LE VERGER Tél : (228) 27 70 81 39

HOTEL LEOTA YENDOUBE Tél : (228) 27 70 86 35

HOTEL CAROLI Tél : (228) 27 70 81 61

レストラン・RESTAURANTS

L'HIBISCUS Tél. 222 74 99/915-15-76

LE MALESAN Tél. (228) 22 21 80 74

ALT MÜNCHEN Tél.: (228) 22 27 63 21

KOH SAMUI & SUSHI BAR Tél. (228) 23 36 64 11

LA BELLE EPOQUE Tél. (228) 22 20 22 40

BARAKOUDA CLUB Tél. (228) 22 20 17 54

CHEZ LE MAIRE Tél. (228) 23 36 95 21

MINI-BRASSERIE Tél. (228) 22 21.32.34

LE TRISKELL Tél. (228) 22 20 95 57

GREEN-FIELD Tél. (228) 22 22 42 49

LES NUITS D'ORIENT Tél. (228) 22 22 42 49

COCO BEACH PLAGE Tél. (228) 22 71 49 35

航空会社と旅行代理店・AIR COMPANIES AND TRAVEL AGENCIES

航空会社

ASKY Tél. (228) 22 23 05 05

ETHIOPIAN AIRLINES Tél. (228) 22 21 70 74 / 22 26 30 29

AIR FRANCE Tél.(228) 22 23 23 23 / 22 23 23 18

BRUSSELS AIRLINES Tél. (228) 22 21 25 25

ROYAL AIR MAROC Tél. 22 23 48 48

AFRIQIYAH AIRWAYS Tél. (228) 22 21 34 85

AIR BURKINA Tél : (228) 22 26 78 21

AIR IVOIRE Tél. (228) 22 20 70 70/22 20 80 80

旅行代理店

ALBA TRAVEL SERVICE Tél. (228) 22 22 13 43

TOGO VOYAGES Tél. (228) 22 21 12 77

UNIONS TOURS Tél. (228) 22 21 41 87

TRANSAFRICA Tél. (228) 22 21 68 23

OCEAN TRAVEL Tél. (228) 22 21 65 30

ODYSSEE VOYAGES Tél. (228) 22 21 80 26

SAFARI TRAVELS AND TOURS Tél. (228) 22 20 75 54

MANUBEL VOYAGES Tél. (228) 22 20 49 42

L'ENVOL Tél. (228) 22 20 59 97

GALAXY VOYAGES Tél. (228) 23 38 13 76

SATGURU TRAVELS AND TOURS Tél. (228) 22 20 64 87

SYNERGIE AT Tél. (228) 22 21 04 35

TOGO : LE SOURIRE DE L'AFRIQUE

トーゴへ行こう



Embassy of the Republic of Togo in Japan
トーゴ共和国大使館

〒107-0052 Tokyo, Akasaka, Minato-ku, 7-4-4

Tel. 03-6426-5266 Fax. 03-6426-5267

Ambatogojapon@ambatogojapon.net

<http://www.ambatogojapon.net>